



平成28年4月14日

各 位

会社名 株式会社ハウスイ  
代表者名 代表取締役社長 高橋 昌明  
(コード番号 1352 東証第一部)  
問合せ先責任者 執行役員管理本部副本部長 小林 留一  
(TEL 03-3543-3536)

(訂正・数値データ訂正)平成28年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)の一部訂正について

当社は、平成27年10月30日に開示いたしました表記開示資料について、一部訂正を行いましたのでお知らせいたします。

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、平成28年4月14日付「過年度の決算短信等の訂正並びに有価証券報告書等の訂正報告書の提出に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は\_\_\_\_\_線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、訂正箇所を含め訂正後のみ全文を記載しております。

以 上

(訂正後)



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ホウスイ

コード番号 1352 URL <http://www.hohsui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 昌明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長 (氏名) 小林 留一 TEL 03-3543-3536

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無: 無

四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	34,415	9.6	228	二	255	759.9	135	二
27年3月期第2四半期	31,403	30.2	10	△94.3	29	△86.5	△8	二

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 185百万円(ー%) 27年3月期第2四半期 △25百万円(二%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	1.62	ー
27年3月期第2四半期	△0.10	ー

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	26,780	5,240	18.2	58.33
27年3月期	24,313	5,226	20.1	58.50

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 4,884百万円 27年3月期 4,899百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	ー	ー	ー	2.00	2.00
28年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
28年3月期(予想)	ー	ー	ー	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	3.9	500	111.9	550	94.3	300	二	3.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.3. 「2 サマリー情報（注記事項）に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	83,790,000株	27年3月期	83,790,000株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	48,106株	27年3月期	47,110株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	83,742,451株	27年3月期2Q	83,743,629株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きは実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府、日銀による景気対策効果により、国内経済は緩やかな回復基調が続いておりますが、円安による消費者物価の上昇や個人消費の節約志向、また海外景気の減速懸念など、景気の先行きについては依然不透明な状況にあります。

水産・食品業界におきましては、円安等の影響により原材料の輸入価格が上昇するなど、依然として厳しい経営環境にありました。

このような状況のもと、当社グループは顧客のニーズに迅速に対応するとともに、増強した設備やグループの持つ機能を最大限に活用して収益確保に努めてまいりました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、前年度新設した市川物流・流通センターが軌道にのり前年対比増収増益となりました。

以上の結果、売上高344億15百万円（前年同期比30億12百万円増）、営業利益2億28百万円（前年同期比2億17百万円増）、経常利益2億55百万円（前年同期比2億26百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億35百万円（前年同期は8百万円の損失）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### ① 冷蔵倉庫事業セグメント

冷蔵倉庫事業セグメントは、在庫量・在庫量の増加により荷役料売上と保管料売上が増加したことと、減価償却費などの経費削減により、売上高は25億10百万円（前年同期比78百万円増）となり、営業利益は2億13百万円（前年同期比75百万円増）となりました。

#### ② 水産食品事業セグメント

水産食品事業セグメントは、主にリテールサポート部門において新商品の開発や既存顧客の店舗増加、市川流通センターの業務改善等により売上高は増加し、利益も改善いたしました。その結果、売上高は319億5百万円（前年同期比29億34百万円増）となり、営業利益は15百万円（前年同期は1億27百万円の損失）となりました。

セグメント業績の詳細については、「4. 四半期連結財務諸表(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」をご参照ください。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前期末比24億66百万円増加し、267億80百万円となりました。

流動資産は、売上債権の増加等により、前期末比3億45百万円増加の97億27百万円となりました。

固定資産は、建設仮勘定の計上等により前期末比21億21百万円増加の170億52百万円となりました。

#### ② 負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前期末比24億52百万円増加し、215億39百万円となりました。

流動負債は、短期借入金の増加等により前期末比5億97百万円増加し、108億94百万円となりました。

固定負債は、冷蔵庫建設資金の借入等により前期末比18億55百万円増加し、106億45百万円となりました。

#### ③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、株主配当金の支払1億67百万円等があったものの、親会社株主に帰属する第2四半期累計期間純利益1億35百万円や非支配株主持分、その他有価証券評価差額金の増加等により、前期末比13百万円増加の52億40百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想は、平成27年5月14日に公表しました連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

(4) 追加情報

(表示方法の変更)

前第2四半期連結累計期間において、「営業外収益」の「雑収入」に含めて表示しておりました「賃貸収入」及び「仕入割引」は、金額的重要性が増したため区分掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」の「雑収入」に表示しておりました71百万円は、「賃貸収入」35百万円、「仕入割引」11百万円、「雑収入」24百万円として組み替えております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,521	1,286
受取手形及び売掛金	<u>5,617</u>	<u>5,902</u>
商品及び製品	1,805	1,739
原材料及び貯蔵品	27	19
関係会社預け金	206	414
繰延税金資産	50	50
その他	<u>173</u>	<u>334</u>
貸倒引当金	<u>△20</u>	<u>△20</u>
流動資産合計	<u>9,382</u>	<u>9,727</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,208	17,285
減価償却累計額	<u>△8,260</u>	<u>△8,540</u>
建物及び構築物(純額)	<u>8,948</u>	<u>8,745</u>
機械装置及び運搬具	3,738	3,780
減価償却累計額	<u>△2,641</u>	<u>△2,743</u>
機械装置及び運搬具(純額)	<u>1,096</u>	<u>1,036</u>
工具、器具及び備品	418	414
減価償却累計額	<u>△264</u>	<u>△272</u>
工具、器具及び備品(純額)	<u>153</u>	<u>141</u>
土地	3,300	3,297
リース資産	607	630
減価償却累計額	<u>△280</u>	<u>△282</u>
リース資産(純額)	<u>326</u>	<u>347</u>
建設仮勘定	14	2,350
有形固定資産合計	<u>13,839</u>	<u>15,919</u>
無形固定資産		
のれん	<u>225</u>	<u>211</u>
その他	215	213
無形固定資産合計	<u>440</u>	<u>424</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	366	386
長期貸付金	<u>67</u>	<u>70</u>
繰延税金資産	110	109
その他	125	165
貸倒引当金	<u>△19</u>	<u>△24</u>
投資その他の資産合計	<u>650</u>	<u>707</u>
固定資産合計	<u>14,931</u>	<u>17,052</u>
資産合計	<u>24,313</u>	<u>26,780</u>

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,276	4,868
1年内返済予定の長期借入金	416	416
1年内返済予定の関係会社長期借入金	346	338
短期借入金	2,100	2,700
関係会社短期借入金	700	1,300
リース債務	114	125
未払法人税等	64	119
賞与引当金	73	88
役員賞与引当金	16	—
その他	1,187	938
流動負債合計	<u>10,297</u>	<u>10,894</u>
固定負債		
長期借入金	4,577	6,669
関係会社長期借入金	2,755	2,586
リース債務	215	226
退職給付に係る負債	860	824
本社移転損失引当金	147	147
繰延税金負債	4	11
長期預り保証金	10	10
長期未払金	110	78
負ののれん	109	91
固定負債合計	<u>8,789</u>	<u>10,645</u>
負債合計	<u>19,087</u>	<u>21,539</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,485	2,485
資本剰余金	1,220	1,220
利益剰余金	1,127	1,094
自己株式	△1	△2
株主資本合計	<u>4,831</u>	<u>4,798</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67	86
その他の包括利益累計額合計	<u>67</u>	<u>86</u>
非支配株主持分	327	356
純資産合計	<u>5,226</u>	<u>5,240</u>
負債純資産合計	<u>24,313</u>	<u>26,780</u>



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	31,403	34,415
売上原価	28,992	31,824
売上総利益	2,410	2,591
販売費及び一般管理費	2,400	2,363
営業利益	10	228
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	1	1
負ののれん償却額	18	18
賃貸収入	35	37
仕入割引	11	21
雑収入	24	18
営業外収益合計	93	98
営業外費用		
支払利息	71	69
雑支出	2	1
営業外費用合計	74	70
経常利益	29	255
特別利益		
投資有価証券売却益	—	22
特別利益合計	—	22
特別損失		
構造改善費用	—	3
特別損失合計	—	3
税金等調整前四半期純利益	29	274
法人税等	66	107
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△36	167
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△28	32
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△8	135

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	<u>△36</u>	167
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	18
その他の包括利益合計	<u>11</u>	<u>18</u>
四半期包括利益	<u>△25</u>	<u>185</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>3</u>	153
非支配株主に係る四半期包括利益	△28	32

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)1
	冷蔵倉庫事業	水産食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,432	<u>28,970</u>	<u>31,403</u>	—	<u>31,403</u>
セグメント間の内部売上高又は振替高	104	5	109	△109	—
計	2,536	<u>28,975</u>	<u>31,512</u>	△109	<u>31,403</u>
セグメント利益又は損失(△)	137	<u>△127</u>	<u>10</u>	—	<u>10</u>

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致している。

2. 第1四半期連結会計期間より、従来の「水産物卸売事業」から「水産食品事業」へと報告セグメント名称を変更している。なお、当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はない。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	冷蔵倉庫事業	水産食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,510	<u>31,905</u>	<u>34,415</u>	—	<u>34,415</u>
セグメント間の内部売上高又は振替高	106	7	113	△113	—
計	2,617	<u>31,912</u>	<u>34,529</u>	△113	<u>34,415</u>
セグメント利益	213	<u>15</u>	<u>228</u>	—	<u>228</u>

(注) セグメント利益又は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致している。